

女性の方
大歓迎!

2022 職業説明会 IFD.Nav



みなさんのハテナに全力でお答えします!

1 ▶ 訪問型

あなたの学校
(クラス・部活・サークル)
にお伺いします

2 ▶ オンライン型

遠方にお住まいでも
参加が可能です

3 ▶ 来庁型

実際に働いている様子や
庁舎内もご覧いただけます

開
催
内
容

「消防」ってどんな仕事? 体育会系?
きつい? 危くない? 毎日、訓練?
事務仕事はある? 24時間起きてるの?
ご飯はみんなで作るの? 給料は?
休みは多い? 女性消防士っているの?
やりがいはあるの? などの疑問に消防士が答えます!
1回あたり約90分の説明会です。

開
催
日
時

2022

3/1 (火) から
8/31 (水) まで

申請者と事前に日程調整し開催日を決定します

お問い合わせ
お申し込み先

出雲市消防本部 消防総務課
島根県出雲市渡橋町253番地1
TEL: 0853-21-2119
<http://www.izumo119.or.jp>



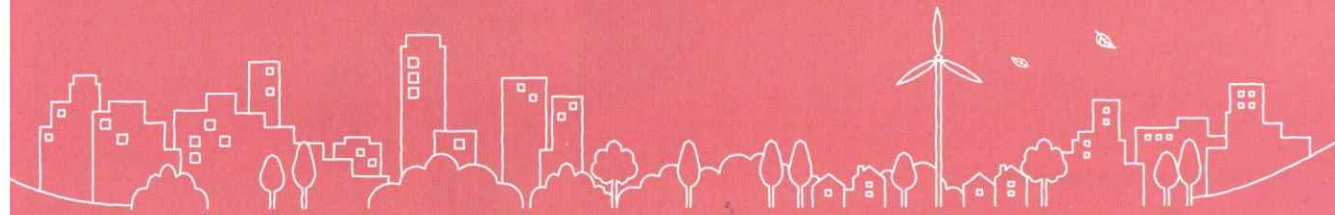
PR動画もみてね!





女性が増えると、
消防はもっとやさしくなる。

女性消防士の WORK+LIFEガイドブック





まっすぐな想い。 しなやかな力へ。

生まれ育った街や大切な人を守りたい。
その想いはどこまでもまっすぐで純粋なもの。
だからこそ、いざという時、
人の役に立てるような力が欲しい。
今、これを読んでいるあなたも、
そんなじれったさを
感じているのかもしれない。

私たちはあなたが胸に灯した誓いに寄りそい、
どんな困難にも
しなやかに立ち向かえる消防士へ育てます。
特別な能力はいりません。
「守りたい」というまっすぐな気持ちで、
ともに進みましょう。



消防の新たな道を切り拓く。 その熱意を胸に、 どんなことにも挑戦してほしい。

私の消防人生は今から20年前に警防課消防係からはじまり、それからは予防業務を軸にさまざまな業務や役職を経験しました。その中で、人々の生活と密接に関わる消防の仕事には女性の存在が必要だと実感しました。

消防の仕事は、地域の安心安全を守るという使命を担っています。地域には男女がともに暮らしていますので、火災や救急といった現場業務はもちろん、災害から建物を未然に防ぐ予防や組織全体を支える総務等、どの仕事においても女性の消防士がいなくてはその使命を全うしたとは言えません。また最近、女性に特化した施設やサービス等も増えているのでそうした時代の変化やニーズに応じた組織力が求められています。だからこそ女性消防士が増えることで、より多くの人々の安心安全な生活を守っていけると思います。

そのため、これから消防士を目指す女性には「なんでもやってみよう」という気持ちで入ってほしい。先輩の後をなぞるのではなく、得意分野や個性を活かし新しい消防のあり方や活躍の場を開拓してもらいたいと思います。消防という組織は消防士の意欲をしっかりと評価しさらに伸ばしてくれる環境ですので、自らの可能性を閉ざさず、どんなことにも挑戦してください。



profile 関 正子

平成7年度採用 東京消防庁
さまざまな業務を経験後、平成26年10月から新宿消防署 予防担当課長(管理職)として勤務し、全国有数の繁華街などの防火安全対策を推進。全国の消防士向けに講演を行い、予防業務の向上に貢献する。平成28年10月から日本橋消防署 予防課長に任命。

- 平成 7年 入庁 警防課消防係と予防課査察係として勤務
- 平成 9年 消防副士長に昇任
- 平成10年 消防士長に昇任
- 平成11年 本庁予防部査察課にて勤務
- 平成12年 予防の知識向上のため消防大学校へ入校
- 平成14年 消防司令補に昇任
- 平成15年 財団法人日本消防設備安全センターへ派遣
- 平成16年 消防司令に昇任
- 平成18年 消防博物館(四ツ谷)で館長として勤務
- 平成20年 予防課査察係長として勤務
- 平成23年 本庁予防部査察課にて勤務
- 平成26年 消防司令長に昇任。新宿消防署で予防担当課長として勤務
- 平成28年 日本橋消防署で予防課長として勤務





消防(指揮)

火災等の災害現場で消火や救助活動を指揮する仕事。消防活動において、指揮隊は現場の状況を的確に把握し、情報を集めて各部隊を統制する要の存在です。指揮隊員が活動各隊との無線通信を担当し、現場最高責任者がこれを受けて活動方針を決定します。

救急

急病、事故、災害等の救急現場に急行し、傷病者に適切な応急処置を行いながら、医療機関まで搬送。大切な命を救うために、救急救命士は、医師の指示のもと高度な応急処置も行います。また、日常的に応急手当に関する啓発のために救急講習等も行っています。



車両操作 (機関員)

出動指令を受けると、消防車両を運転し、いち早く現場に向かいます。火災現場では指揮隊と密に連携しながら消火活動を行い、救急の現場では各部隊と連携して活動を行います。平常時には、各種訓練を行ったり、管轄地区を巡回して地理や消防水利(消火栓等)の把握も行います。

職種紹介

各市町村の消防本部では、消防士の知識や技術を活かしたさまざまな業務を通じて人々の生命を守ります。現場の最前線へ向かう業務から消防本部の組織力を高める業務等ここに挙げた職種の他にも多彩な分野で活躍することができます。

火災予防

火災発生を受けて出動し被害を最小限に食い止める消火隊に対し、予防課は火災を未然に防ぎ、火災の被害が発生しないようにすることを目指します。主な業務は、避難経路の確保や消防用設備等の設置審査、防火管理体制の指導等。対象となる施設には定期的に立入検査を行い、ハード面、ソフト面に不備事項があれば是正指導します。



総務

消防に関する予算、人事、給与、施設管理、福利厚生等の事務全般を担当する部署です。基本的には毎日勤務で、デスクワークや対人折衝が中心となります。幅広いサポートと安心して働ける環境を整える総務は、すべての消防士に対する緑の下の力持ちです。

通信指令

火災・救助・救急等、住民からの「119番通報」を受ける仕事。通報を手がかりに災害や事案の発生現場を特定し、必要な部隊を選択、出動を指示します。現場への誘導や統制も行います。通報者から適切な情報を収集し、災害出動した各部隊が円滑に活動できるように情報を提供することも重要な仕事です。



消防(指揮)

災害現場で各種活動の司令塔となるのが指揮隊。消火隊、救助隊、救急隊等の各部隊を指揮し、隊員の安全を管理するとともに、二次災害の防止も図りながら、被害を最小限にとどめることが使命だ。

仙台市消防局

hiroko takahashi

高橋 寛子

平成17年度採用

女性消防士の存在を知ったことで、「自分も!」と強い気持ちになりました。

テレビや漫画を見て「消防士ってカッコいいな」と思っていたのですが、消防=男性、火消し、レスキューというイメージしか持っていませんでした。でも、高校卒業後に仙台市消防局防災安全課に1年間嘱託として勤務した際、女性消防士が救急隊員として働いているのを知り、憧れから「自分も消防士になりたい!」という志望に変わりました。

消火隊や救急隊で現場を経験した後、自分が直接動く

のではなく一歩引いたところで現場の統制や安全管理を行う指揮隊に。火災の被害を最小限にとどめることはもちろん、仲間の安全管理までするのがこの仕事の難しいところ。必死に災害対応を行っていた現場部隊の時は違った難しさを日々感じています。大隊長をしっかりとサポートするため、これまでの経験を活かし、現場でさらなる力を発揮できるよう日頃から鍛錬に努めています。

体力勝負という視点を変えることで、女性の仕事内容は広がります。

現場で重いものを持っている時など、「大丈夫か」と周囲に心配される事もあります。女性だからといって気を遣われ過ぎる事に気が引けますが、無理に男性と同じ事をやろうと頑張るよりも、他に女性としてできる仕事を見つけるのも一つだと考えています。体力勝負という視点を変えてみれば女性の仕事の可能性はもっと広がるはず。例えば、市の催事等で、消火器の使い方を住民に指導す

る時「一緒にやりましょう」と私が声をかけると、恥ずかしがっていた人も挑戦してくれます。親しみやすい女性の柔らかい雰囲気は、このような場面で生きてきます。

私は故郷仙台が大好き。住む人たちが安全で安心な暮らしができるよう、「わたしが街を守る!」という気持ちでこれからも仕事をしていきます。



profile

宮城県生まれ。高校卒業後、消防士を志して採用試験にチャレンジ。平成17年に採用後、消火隊、救急隊を経て、平成28年4月から現職。

一日の流れ

8:30	9:30	12:00	13:00	18:00	23:00	6:00	8:30
出動・申し送り 車両の点検・体操 ミーティング	研修・訓練 小学生の 消防車見学の案内	昼食・休憩	訓練 事務処理	夕食・研修	仮眠 通信勤務	起床・清掃 申し送り	退庁

出動(現場指揮)

現場の指揮本部では大隊長をサポート。各部隊を指揮して迅速かつ的確な対応をするとともに、隊員の安全管理も図りながら二次災害の防止に努めます。



訓練(重機操作)

東日本大震災を機に、現場の救助活動にも役立つと考え、重機の運転免許を取得。折に触れて操作の訓練を重ねています。



休み時間

職場の先輩後輩の女性たちのおしゃべりは、大切な息抜きのひととき。恋愛の話や楽しい話題で盛り上げられます。





救急

急病、事故、災害等の救急現場に急行し、傷病者に適切な応急処置を行いながら、医療機関まで搬送。大切な命を救うために、救急救命士は、医師の指示のもと高度な応急処置も行う。

久米島町消防本部

kino furugen

古堅 紀乃

平成26年度採用

職場体験先での救急救命士との出会い。それが消防士の道への始まりでした。

「あるのは「やりがい」だけ」。高校生の頃、どうせやるなら一生緑のない仕事を体験してみよう、そんな気持ちで選んだ消防署での職場体験で、出会った救急救命士のひとこと。彼の言葉は、私が漠然と想っていた「やるなら一生続けられる仕事」をイメージさせるものでした。仕事をするなら、生涯継続できるやりがいのある仕事がいい。「誰かの助けになる

仕事」がいいと思った瞬間でした。生まれも育ちも久米島の私が、地元で消防士として職務に就いて約2年。町内唯一の女性消防士という立場や経験不足から不安を感じることもあります。それでも、細かい配慮が求められる救急の現場で、傷病者やその関係者から「女性が来てくれて安心した」と言っていたとき、自分の存在意義を実感します。

女性という「強み」を活かして、救急の現場に安心を提供したい。

救急の出動要請の内容は、急病、交通事故、一般負傷とさまざまあり、ケースバイケースの対応が求められます。2年目の私は、主に隊長と共に現場へ赴き、傷病者の状態やバイタルサインを観察し、病院まで搬送します。また、小さな島の消防署なので、救急以外の職務を兼務することもあります。混乱する現場で私が心がけているのは、傷病者にきめ細かい処置を徹底し安心してもらうこと。とある現場で、女性の急病者に心電図の測定をする際、

洋服の構造を知っていたためにいち早く対処できました。同性だから分かることを活かして、抵抗なく処置を受け入れてもらえることは、私の強みです。現場で安心した傷病者の顔を見るたび、女性消防士の必要性を感じます。島の子供から「将来、お姉さんみたいになりたい」と言われたひとことが心に残っています。さまざまな現場を重ね、私は女性消防士だから提供できる「安心感」を備えた、島民から頼られる消防士になっていきたいです。



profile

沖縄県久米島町生まれ。高校卒業後、専門学校に進学。同校で救急救命士の資格を取得。平成26年度採用。久米島町初の女性消防士となる。

一日の流れ

8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	17:00	18:00	21:00	22:00	8:30
出動 申し送り 車両・資機材 等の点検	ミーティング 事務処理	昼食・休憩	通信勤務 訓練	事務処理 訓練	体力 トレーニング	夕食・休憩 事務処理	ミーティング	仮眠 通信勤務 待機	勤務交替

申し送り

勤務につく消防士と、それまで勤務していた消防士の交替から一日が始まります。前日までの業務内容を担当者へ正確に引き継ぎます。



車両・資機材等の点検

救急車や無線機の点検をはじめ、各種救急資機材の点検や作動テストを行い、使用する車両や資機材等に異常がないか確認します。



通信勤務

小さな島の消防本部なので業務全般を兼務で担当することになり、通信指令業務も担当します。119番通報は、24時間365日、いつでも対応します。



車両操作 (機関員)

消防車、救急車、はしご車等を運転・操作する業務。安全・確実・迅速に現場に到着させるとともに、ポンプやはしごの操作も担当する。

名古屋市消防局

noriko kuwahara

栞原 紀子

平成14年度採用

「人を助ける仕事」である女性消防士の存在を知り、即行動。

幼少の頃、一緒に川遊びに来ていた友達がおぼれた時、すばやく救助に向かった父の背中を今でも覚えています。26歳で「女性でも消防士になれる」と初めて知った時、頼もしい父の記憶が重なり、「自分も困っている人の役に立ちたい」と、迷いなく消防士採用試験を受験しました。

勤務している名古屋市消防局では14年間、消火隊員として「現場ひと筋」です。体力には元来自信がありますが、

火災、救助、救急の現場では、知識や技術、判断力や気遣いが大切だと思っています。とくに女性と接する時は、女性消防士の方が安心感を与えることもあります。

妊婦さんを救急搬送する途中で赤ちゃんが生まれた、という経験をした際、妊婦さんのホッとした表情は忘れられません。命の誕生の瞬間に立ち会い、「消防士は最前線で命を助ける仕事」だと改めて思いました。

「60歳まで現場最前線」を目指し、はしご車などの大型車両の運転操作技術も習得。

現在は、はしご車などの大型車両の運転・操作をする「機関員」と活動隊員、また編成によっては救急隊員としても活動しています。私は常に最前線で役に立ちたいと考え、ポンプ車や救急車、はしご車の機関員の資格に積極的に挑戦。さらに志願して消防学校救助科で救助を学び、救助隊の資格を得ることができました。まだ女性の機関員は少なく、男性のペースに合わせて活動するには、

日々の体力トレーニングが不可欠です。でも、仲間のチームワークに支えられ、活動に不安は一切ありません。

私は今、名古屋市消防局の女性消防士の中で「現場最前線」になることです。生涯現役で働くためには、先頭に立って率いる力と責任感を身につけて、次世代の女性消防士のロールモデルになれるよう、鍛錬と挑戦を続けていきます。

一日の流れ

8:45	10:00	10:15	12:00	13:00	18:00	21:00	23:00	7:00	8:45
点呼 申し送り 大交替	若手職員 教養	事務処理	昼食・休憩	消防訓練 地利調査 車両点検	夕食・休憩 事務処理	体力 トレーニング 入浴	仮眠 2時間の 夜間勤務	起床・朝食 車両整備	申し送り 大交替

若手職員教養 (出勤経路等確認)

地図上で仮の災害現場を設定し、経路、消火栓の位置、消防車の着順や停車位置をシミュレーションして共有。すばやい判断力を養います。



地利調査

管内の消火栓を開けて点検し、いつでも使用できるよう状況を把握します。また狭隘な道路のチェックも行い、災害出動に備えます。



体力トレーニング

朝は隊員が輪になり、体操やスクワット、階段昇降等の基礎トレーニングを実施。夜はトレーニングルームで筋力アップに励みます。





通信指令

火災や事故等住民からの「119番通報」に即応。必要な部隊を現場に出動させる。司令塔の役割を担う部署であり、現場への指示や誘導、統制等を的確に行う。

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

shinobu kanno

菅野 志乃布

平成21年度採用

音楽好きの普通的女子でも、カッコいい消防士になれます。

父親の影響で幼い頃から消防士に強い憧れがありました。でも私は女だから父親のような「カッコいい消防士」にはなれないだろうと思いついていました。転機は、小学校5年生の時に福島県消防学校の訓練見学。男女差なく、チーム全員でホースを担ぎながら訓練している姿を目の当たりにして、女性も働ける職場なのだと感銘を受け、小学生の時に消防士を志す決心をしました。

将来の夢を消防士と決めましたが、音楽が大好きだった私は、中学は吹奏楽部、高校は合唱部。どちらかという体を動かすのは苦手なほうでした。高校生の時、消防士の採用試験を受けると父に話すと「体力試験があるから走っておきなさい」とアドバイスをもらい、試験前に必死にトレーニングをしました。「どうしても消防士になりたい!」という強い気持ちで頑張ったことが現在につながっています。



profile

福島県生まれ。消防士の父親に憧れて消防士を志望。5年間、消防士として会津若松消防署に勤務。入職後に消防学校救急科に入学し、救急隊員の資格を取得した。

女性だからこそそのメリットを活かしてできる仕事があります。

過呼吸の傷病者からの119番通報に対応したことがありました。混乱する傷病者からの的確な情報を聞き出すとともに、救急車が到着するまで「声で安心させてあげる」ことも日々の仕事のひとつ。仲間から「救急車到着までつないでくれ」と頼まれ、対応を替わりました。10~15分の間、安心しての他にも状況を尋ねながら話し続けました。女性は、男性には話しにくいことも、同性だとすんなり話してくれることがあります。

そんな時、女性としてのメリットや現場での必要性を感じます。消防の仕事には女性が必要とされる職務や場面は結構多いというのがこれまで仕事をしてきた実感です。通信指令業務に就いて2年半。救急を必要とする人の声を実際に聞いたことで、より傷病者の立場に寄り添った救急活動をしたと感じます。将来は救急現場での任務に、通信指令での経験を活かしたいです。

一日の流れ

8:30	12:00	13:00	17:15	18:15	21:00	7:00	8:00-8:30
出動 119番受理 災害等無線対応 事務処理	昼食・休憩	119番受理 災害等 無線対応 事務処理	夕食・休憩	119番受理 災害等 無線対応 事務処理	仮眠 (うち3時間30分勤務)	119番受理 災害等 無線対応 勤務実績簿作成	申し送り 勤務交替 退庁

業務

119番通報では声を聞いて現場をイメージ。救急を必要とする人がどこから電話をかけているのか、状況や症状はどうか等素早く聴取します。



事案の検証

事案について自分たちの対応が良かったのかどうかを検証し、課題や今後の対応について確認。疑問はその都度解決していきます。



勉強

空いた時間に救急の教科書を読み直すことも。通信指令室の業務には消防士として活動した現場経験が活かされています。



火災予防

たとえ甚大な被害には至らなくても、人々の心に大きな不安や傷を残す火災。検査・指導や火災予防広報を通じて火災を未然に防ぎ、安全・安心な街を守るのが予防業務最大の使命だ。

松山市消防局

yoko takihira

瀧平 陽子

平成17年度採用

対策を講じれば火災は防げる——幼心に抱いた使命感を原動力に。

「なぜ消防士に?」そう尋ねられるたび、かつて経験した自宅のボヤ事件を思い出します。幸い大事には至らなかったものの、火の始末を怠った祖父は意気消沈。幼心に「同じ苦しみを誰にも味わせたくない」と強く思ったのを覚えています。私が現在所属するのは、管轄する地域の火災予防業務を行う消防署の予防担当。立入検査以外は事務が中心で、現場に急行する消火隊や救急隊に比べれば一見地味です。

が、検査・指導を通じて火災発生を回避する予防担当は、まさに消防の“根幹”的存在。指導の際、相手の立場に立った細やかな配慮は安心感を提供できるので、女性らしさが活かされる機会も多いと感じます。一番うれしかったのは、長年にわたり未検査状態だった防火対象物が、1年がかりの説得の末に立入検査を受け入れた時。経験を重ねるほど知識や対応力が広がる面白さもあり、大きなやりがいを感じます。



profile

高知県生まれ。大学では「好きな英語や海外文化を学びたい」と英語英米文学を専攻。消防局入職後は救急救命士を志すが結婚・出産を機に進路転換し、平成25年より現職。

母になってあらためて実感する、安心して働き続けられる喜び。

憧れの仕事を担う喜びもさることながら、入職12年を経てあらためて感じるのは、その働きやすさ。在職中に結婚し2児の母となった私が、今なお第一線に立ち続けられるのも、産休・育休をはじめとする制度・環境が整っているからこそ。女性消防士がほとんどいなかった入職直後は不便を感じましたが、声を上げることで一つひとつ改善。「子どもが待ってるんだから早く帰れよ」と気遣ってくれる同僚も多く、

働く女性にとってはとてもありがたい環境です。所属する予防担当は毎日勤務(月曜~金曜)で、一日の仕事量が調整しやすいのも大きな魅力。自己管理さえしっかりできれば、子どもとの時間も十分とることができます。とはいえ、家庭環境や希望するキャリアは人それぞれ。後に続く後輩のためにもこの環境をさらに発展させ、女性がさらに活躍できる職場づくりに貢献していきたいと思っています。

一日の流れ

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:30	17:15
出動 メールチェック	業務確認 書類準備	立入検査	書類作成 事務処理	昼食・休憩	来客対応	入力業務	業務終了

業務確認

適正な検査・指導には、基本的な法律知識に加え、経験に基づく応用力が欠かせません。判断に困ったときは逐一上司に相談します。



書類チェック

検査や相談対応の前には、届出だけではなく、前任者が残した過去の履歴も細かくチェックします。



消防検査

新築・改築工事後の消防検査では、事前に提出された図面と相違がないか、消防設備や避難経路等の一つひとつ確認していきます。





総務(人事)

給与・人事・福利厚生等消防署の集約事務を担当する部署。健康診断やストレスチェック等消防士の健康管理も大切な役割である。

奈良県広域消防組合
消防本部

masako mori

森 昌子
平成6年度採用

「大好きな地元で人の役に立ちたい」という想いから、消防の道へ。

消防士という職業との出会いは、地域の広報誌です。学生時代から部活に打ち込み、ボランティアで小学生にバレーボールを教えていたアクティブ派の私にとって、「住み慣れた地元で貢献でき、しかも身体を動かせる仕事」は興味をひかれるものでした。今思えば、幼い頃、自警団で活躍していた父の姿が心の片隅に残っていたのかもしれない。

私が入署した年はちょうど「男女雇用機会均等法」が

改正され、女性も夜勤を含む隔日勤務が可能になりました。とはいえ、管内では女性初の消防士ということもあり、最初は日勤の部署に配属されました。“現場を経験したい”という想いが募り、自ら「大型免許」を取得。こうした意気込みを上司や仲間が汲み取ってくれ、救急隊や消防隊としての経験も積むことができました。



profile

奈良県生まれ。短期大学卒業後、平成6年に奈良県中和広域消防組合へ。予防課、警防課、消防隊、通信指令課等を経て、現在は奈良県広域消防組合の人事課に配属。1児の母。

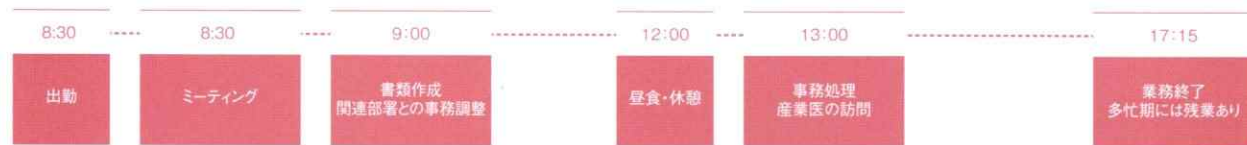
消防のあらゆる業務経験を活かし、皆をサポートする“縁の下の力持ち”に!

消防士になって21年間、救急隊・通信指令等の現場から、防火指導や火災原因の調査、新庁舎のシステム構築まで、消防にかかわる幅広い業務に携わってきました。異動するたびに「よしやるぞ」と頭を切り替えて前向きに挑めるのが私の強みであり、各部署に女性の働く環境を少しずつ広げることができたのではと感じています。実際、管内の新設の消防署に女性消防士用の仮眠室や浴室が設置

されたことを知ると、うれしくなります。

消防士は体力勝負のイメージがあると思いますが、出産・育児休暇の制度を活用し、キャリアを積むことが可能です。私も出産を経て復職し、今は人事で消防士の福利厚生をサポートしています。プライベートでもママですが、目指すはみんなの“縁の下の力持ち”。さまざまな経験を糧に、年齢や肩書きの垣根なく、何でも相談できる存在を目指したいです。

一日の流れ



ミーティング

人事部のメンバーが集まり、本日の業務内容を打ち合わせます。情報共有とスムーズな進行のために、欠かせない時間です。



書類作成

定期健康診断、衛生委員会、ストレスチェック制度に伴う書類の作成等、パソコンによる事務作業が中心です。



産業医訪問

月に1度、産業医のもとへ出向いて、消防士の健康状態や勤務状況等を報告。感染症予防のノウハウ等のレクチャーも受けます。



教育制度

消防に関する知識や技能の習得・向上のため、採用された消防本部ではもちろんのこと、都道府県等の消防学校で教育訓練を受けます。また、幹部になるためのマネジメント能力を習得するため、消防大学校(東京・調布市)で高度な教育を受ける機会もあります。

消防学校について



長野県消防学校提供

初任教育

新たに採用された消防士は、消防署等に配属される前に、初任教育として約6ヶ月間、全寮制の消防学校に入校し、消防士としての基礎的な知識や技能、体力を身につけます。消防士として必要な服務規律や安全管理についても学びます。

初任教育の内容 初任教育期間中に、業務に必要な知識・体力をつけていきます。

基礎教育

消防組織や法制度、服務規律等

実務教育

各業務に関する基礎知識や消防用設備・建築・救急に関すること等

実科訓練

消防活動における基本的な動作等を学ぶほか、体力錬成も行う

その他の教育課程

従事する業務に応じた必要となる知識・技能やキャリアアップの過程で必要となる事項を学ぶために「専科教育」、「幹部教育」等が行われています。

専科教育

警防科、救急科、救助科、予防査察科、火災調査科等、各分野のスペシャリストとして業務ごとに必要な知識と技術等を学ぶ

幹部教育

さまざまな消防部隊を管理運営するための現場指揮や部署の管理職等に必要となる事項を学ぶ

消防大学校

消防庁に設置されている消防大学校では、各消防本部の幹部となる消防士に対する高度な教育や緊急消防援助隊(大規模災害発生時に全国の消防本部から出動する応援部隊)の活動を想定した高度な教育訓練を実施しています。



女性消防士座談会

全国で活躍する女性消防士たち。「人を助ける仕事」の尊さに触れ、自らもその道を歩き続ける5人の女性消防士に、働く魅力や今後の女性消防士の活躍について本音を語っていただきました。

小野寺 宏美

平成14年度採用
千歳市消防本部

救急救命士として活動後、育児を機に通信指令員として従事。現在は2児の母として家庭と仕事の両立に励む。

宮本 裕美子

平成16年度採用
尼崎市消防局

ポンプ車とはしご車の隊員として現場活動に従事しながら消防署内の予防業務を担当。消防局の行事の取りまとめ役も担う。

山中 由紀

平成15年度採用
川崎市消防局

予防課庶務係として公文書の管理や消防士の出勤管理、同署のHP作成から庁舎見学者の対応等幅広く業務を行う。

前澤 菜沙

平成23年度採用
御前崎市消防本部

救急隊の隊長とポンプ車の機関員業務を担当。一度は医療の道を志すも、救急救命士に憧れて転職した。

新門 美香

平成22年度採用
人吉下球磨消防組合消防本部

企画教養課と情報管理課の一員として各種イベント立案等と消防署内の情報開示等に携わる。

人の役に立ちたい！ 同じ想いからはじまった 5人の消防人生。

宮本 こうして全国から集まってお話することは初めてなので色々聞きたいんですけど、まず皆さんは何がきっかけで消防の仕事を選んだんですか？
山中 私は昔から人の役に立つ仕事がしたいと思って消防士を目指しました。川崎市は全国で初めて女性消防士を採用した市で、大勢の女性消防士が活躍している点に魅力を感じましたね。
新門 ずっと水泳を続けていた私は、高校生の頃に地元の市民プールで、人吉下球磨消防組合による救助技術訓練を見て消防の仕事に触れました。体力に自信があったので、能力を活かして地域に貢献できると思ったのがきっかけです。

前澤 私は「救急車に乗りたい!」と幼い頃から強く思っていたので自然と消防の仕事を選びました。
小野寺 私は助けを求めている人にいち早く駆けつける消防士に憧れていて、中でも救急に魅力を感じていました。そこで救急救命士の資格をとるために専門学校に通いましたが、周りは看護師の道へ進む人が多かったため、消防へ行くというと驚かれましたね。
宮本 私も消防士になるって決めた時は周囲からびっくりされました。
新門 どうして消防士になろうと思ったんですか？

宮本 大学生の頃、地元の消防団で活動している時に誘われたのがきっかけでした。祖父が消防団員だったので、もともと消防の仕事に興味があり、消防士試験を受験したんです。
山中 すごい。スカウトされたんですね。
宮本 でも体力に自信があるわけではなかったし、現場には出ないだろうと思っていたんです。配属後にポンプ車とはしご車の隊員になると聞いたときは驚きましたね。



憧れの女性消防士。 その第1号ならではの 苦労や壁とは。

前澤 ほかの女性消防士も同じように現場で活動していたんですか？
宮本 尼崎市消防局では私が最初の女性消防士でした。現場も「任せていいのかな?」という感じで、最初は連携がうまくとれなくて苦労しました。
小野寺 私も千歳市消防本部初の女性消防士ですから、よくわかります。私は配属直後から救急救命士として勤務していましたが、女性消防士の前例がないので、実際どこまで業務を行えるのか現場も私も未知でしたね。
新門 私も女性消防士第1号なんですけど体力面を考慮されて指揮隊へ配属されました。当時は他の方と同じ活動をできなかったのが悔しかったです。
山中 第1号ならではの悩みですね。どうやって乗り越えていったんですか？

周囲と新たな女性消防士。 そして組織の対応力が 支えてくれた。

小野寺 先輩たちのおかげですね。何でも話を聞いてくれたので、相談しながら業務の幅を広げられました。
宮本 私は後輩に助けられましたね。「第1号だから何でもやらないと!」と気を張っていて先輩たちとコミュニケー

ションがとれなかったと思うんですけど、誰に対しても気さくに話す後輩を見て、自然体でいいと思えたんです。
新門 私も後輩ができたおかげで悩みを共有できて気持ちが楽になりました。それから女性のポンプ隊員も生まれて、どんどん活躍の場が広がってきましたね。
山中 皆さんが女性消防士の道を切り拓いてくれたから、後輩も安心して働けるんですよね。
前澤 これからも女性消防士が増えることを考えると、より働きやすい環境を整えなくてはいけませんね。
新門 環境といえば当時の職場には女性用の仮眠室がなくて、しばらく毎日勤務しかできなかったんです。配属から1年後に仮眠室を作ってもらえて、「やっとできた!」ってうれしかったのを思い出しました。
宮本 私も配属当時は女性用仮眠室が1つの消防署に1室だけでした。女性消防士が増えるにつれて、女性に考慮した設備を備えた消防署が増えてきたので、少しずつ充実しているように感じます。
小野寺 臨機応変に対応してくれる組織ですよ。
新門 それと女性は出産や育児があるので、そうした時の対応や復帰後の居場所なども整えていかないとはいけませんね。



今までの経験や 職場の協力があるから 産休育休後も続けられる。

小野寺 はじめて産休を取得するとなった時、職場も私も慌てました。それまで取得した消防士がいなかったので、福利厚生制度の確認からはじめていきました。

宮本 わからないことだらけで不安だったんじゃないんですか？

小野寺 そうですね。一番の不安は復職についてでした。それまで救急の現場しか知らなかったの、育児休業後にしっかり復職できるだろうかと思っていました。

新門 早く働きたいという想いが強かったんですね。私も産休育休を取得しましたが、育児に専念する期間を長くいただけてよかったと思いました。

小野寺 その気持ちは私もわかります。ただ当時は肩に力が入っていたんでしょうね。母親としては、子どもとの時間は長く欲しい。その反面、復職を考えると1日でも早く現場に戻りたい。二つの狭間で揺れていました。

山中 子育て中は毎日勤務に従事することが多いと思うので、それまで交替制勤務の経験しかない、いざ復帰した時に新しい業務を一から覚える必要があるので大変ですよ。

前澤 小野寺さんも復職後は慣れない業務に苦労されたんですか。

小野寺 そう思っていたんですけどね。復職して通信指令員として勤務していますが、通報を受けた際に必要な応急手当の方法を口頭で伝えるなど、救急現場へ行かなくても救急隊員の経験を活かすことができました。もちろん、私がこうして復職できるのも、職場の上司、仲間、そして家族の理解とサポートがあつてのことですけれどね。

新門 職場の方々は何育児への理解が深いんですよね。私も子どもが熱を出した時や病気にかかってしまった時などは、快く看護休暇をくださるので、とてもありがたく感じています。

母として、女性として 消防士として 感じるやりがい。

前澤 母親になったことで仕事への影響はありました？

新門 以前よりも細かな点に気が付くようになったと思います。今、私は企画教養課という部署で地域住民の方に救急・火災予防を広報するイベントの企画調整等を行っているんですけど、子育て中の方も安心してイベントに参加できるよう、キッズスペースを立案したり、これまでなかった視点からアイデアが生まれることがありましたね。

宮本 仕事の幅も広がるし、それで喜んでもらえたらうれしくなりますよね。

小野寺 私の経験でいうと、母親は我が子が救急車を必要としている時、パニックになっていることがほとんどです。「お母さん救命士」として女性目線、母親目線から安心感を与えることができると思います。

山中 私も救急の経験があるので、よくわかります。男性とは違った目線や気配りが仕事に活かせると思いますし、それが仕事を続けていく上でのモチベーションになっていますよね。

宮本 救急の現場だと女性消防士の存在って大きいんですよね。



前澤 そうですね。私は救急隊の隊長とポンプ車の機関員として活動していますが、病院搬送の間に患者さんやご家族の方と会話する中で、「女性がいてくれて安心した」という言葉をいただいたことがありました。

宮本 浴室で急変された女性の方を搬送する時もあるので、そういう状況では同僚からも頼りにされますね。

女性消防士への期待と それぞれが描く、 今後のキャリア。

宮本 あと私の職場では、通信指令にも女性消防士が必要と言われるんですけど、女性が多い方がいいと感じることってありますか？

小野寺 現場の消防士と無線でやりとりする際、「女性の声は高く聞き取りやすい」と言ってもらえることもあり、通信指令は女性の特性を活かせる場の一つと考えています。

新門 やっぱり女性ならではの柔らかな印象や声から、消防団の方や地域住民の方々に安心感を与えられますよね。

宮本 なるほど。それと私の職場では予防業務を希望する女性消防士がいます。法律や建築の知識が求められるので勉強の連続ですが、毎日勤務ですら出産や育児があっても長く続けられると考えているみたいです。

前澤 私はできるかぎり、現場で活動したいですね。体力面の違いから男性と同じ業務を行うのは大変な部分

もありますが、そこで諦めるのではなく、どうすれば重い資機材が持ちやすくなるのかと姿勢について勉強したり、自主トレーニングしたりと工夫しながら働き続けたいです。

新門 私も現場に復帰したいと考えています。子育ての経験者は私だけなので、後輩たちに「母親になっても、こんな働き方ができるんだ」と思ってもらえるよう、活躍の幅を広げていければと思っています。

山中 私の職場でも、今年度から女性救助隊員第1号が誕生したので、本人次第でキャリアを築いていけますよね。

「これがやりたい！」 その想いが 自分らしい道をつくる。

宮本 上司や先輩がサポートしてくれるので、女性も交替制勤務や消防や救急、救助といった現場で活躍できると思いますね。

山中 仕事に対して熱い気持ちをもって先輩ばかりですので、どんな相談にも乗ってくれますし。

前澤 かといって先輩や上司に頼ってばかりでは、本人のモチベーションが続かないかもしれませんね。

小野寺 そう思うと、これから消防士を目指す方は「こんな仕事をしたい」という気持ちをもってほしいですね。

宮本 例えば、「救助をやりたい」と言えば希望を叶えてくれる職場もあるので、そうした環境の良さを活かして活躍の幅を広げてもらえたらいいですよね。



新門 地域や設備の違いによって職域が限られてしまうかもしれませんが、そこに女性消防士が入ることで変えていくこともできますし、いろんな可能性があると思います。

宮本 体力に自信がなくても、勉強が得意な方なら予防業務で活躍したり、消防署全体を指揮する立場にもなれると思います。文系でも理系や体育会系であろうと、どんな方でも活躍できるのが魅力ですね。

小野寺 想像以上に事務仕事が多いですし、すべてが体力仕事でもないですからね。

消防の仕事や人に触れ、 広い視野で自分の将来を 考えてほしい。

宮本 配属されたばかりの方は、「事務仕事がかまど多い」と驚きますよね。

小野寺 やっぱりテレビや報道のイメージが強いのだと思います。常に火災現場や災害現場へ出動していく男性の仕事だと思っている方は多いんじゃないでしょうか。

宮本 やっぱり体育会系と思われているんじゃないですか？

新門 宮本さんは違うんですか？

宮本 全然違いますよ。だから消防学校の訓練や配属当時は大変でしたね。

新門 そして自分の進むべき道を見つけてもらえたらうれしいですね。

やりがいを感じていたからです。予防業務などの毎日勤務や救急隊員として出勤する女性消防士が多い中で、消防車に乗って人々へ貢献する仕事は誇りに感じますし、市民からいただく感謝のお言葉で、またがんばろうと思いました。

山中 私も救急救命士として活躍する先輩たちの姿を見て、現場に行きたいと思ったので、実際に働く中

で見えてくる目標もあるでしょうね。どの仕事も、人々の役に立っているというやりがいを感じられると思います。そうした実感があるからこそ、定年まで働くことができるのではないのでしょうか。

宮本 だからこそ、消防の仕事は多彩であるということを伝えていきたいですよ。女性だから現場の仕事ができないということはないですし、女性は毎日勤



務のみというわけではないので、広い視点で消防士としてのキャリアや働き方を考えてもらえたら、もっと多くの女性が活躍できると思います。

小野寺 私自身、これから入ってくる女性消防士の参考になるような消防士を目指して活動してきたので、この座談会もその一助になればいいですね。

新門 そして自分の進むべき道を見つけてもらえたらうれしいですね。

福利厚生制度

出産・子育ての支援制度等

消防士は地方公務員ですので、市役所・町村役場の事務職員等と同様に、さまざまな支援の仕組みが活用できます。出産・子育ての時期には、法令等に基づいた休暇・休業等の制度を活用することができます。

産前産後休暇

産前から産後、合計で原則として14週取得することが可能で多くの消防士が使用している制度です。

育児休業

原則として子供が3歳に達するまでの間、育児休業をすることが可能です。多くの消防士は職場復帰に関して同じ制度を取得した先輩と相談し取得年数を決定しています。

育児短時間勤務制度

法律や条例で定める勤務の形態により、希望する日及び時間帯において勤務することができます。

部分休業

育児の状況にあわせて、出勤前後最大で2時間以内の部分休業が可能です。勤務毎に申請し使用します。

VOICE
1



「しっかり子育てをしておいで」という言葉が励みに!

私は産前産後休暇と育児休業を第1子、第2子連続で取得しました。上司から「母ちゃんの代わりは誰にもできないから、しっかり子育てをしておいで」と言われ、心が楽になったのを覚えています。職場復帰後は、小学校へ入学するまで自宅近くの消防署に配属され、急病や送迎にも対応できました。子育てで得た視点や平常心は、救急や消防の現場で確実に役立っています。女性消防士の可能性を広げるためにも、制度や経験を後輩へ伝えていきたいです。

profile 東村 美香 平成12年度採用 松本広域消防局

松本広域消防局で初めて産前産後休暇と育児休業を取得しロールモデルに。2児の母。

働くママが増え、育児の情報交換ができて心強いです。

1人目と2人目の間に半年の勤務を挟み、トータルで2年半の産前産後休暇と育児休業を取得。キャリアの中断に不安はありましたが、出産し復職している先輩の存在やアドバイスを勇気づけられました。復職後も帰宅を促してくれるなど、理解ある職場にも大変感謝しています。出産で変わったのは「子どもたちへ命の大切さを伝えたい」という想いです。保育園の防火訪問や親子向けの教室では興味が増すよう内容を工夫するなど、子育ての経験を活かしています。

profile 申田 景子 平成13年度採用 湖南広域消防局

2児の母。授乳のため30分の特別休暇を得て早期復職。休業中はパソコンの勉強も。

VOICE
2



消防庁ホームページでも
女性消防士のキャリアと仕事、
ワークライフバランスを紹介中。



http://www.fdma.go.jp/josei_shokuin/

お問い合わせ先

FDMA
女性活躍

女性消防士の日々の仕事、
イベント情報などを
Facebookページで公開中。



<https://www.facebook.com/Josei.FDMA.JAPAN/>



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency